

令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	30	学校名	静岡県立富岳館高校	校長名	神田 明葉
------	----	-----	-----------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア 人とつながる学び	- 生徒自身が、人とかわるために必要な基礎学力について考え、自ら取り組む学び - 生徒主体の学校活動を全員で支援し合う学び	- 観点別評価B（おおむね満足できる）レベルについて、教科等で検討し生徒に示したが100% - 自分の到達したい学習レベルを目標として掲げられる生徒80% - レベルにあった学習方法を自分で選択できた生徒80% - ICTの効果的な活用を指導している教員90% - ICTを活用し、自分にあった学習ができた生徒80% - 他者の授業を参考に授業改善をした教員100% - 研修で得た新たな情報を活用した教員100% - 他者の意見を聞き、自分の考えを他者に伝え、互いに理解しあう活動を、授業内で実践している教員90% - どの授業でも自分の考えを他者に示すことができていると答える生徒80% - 常に生徒を支援する言葉を投げかけている教員100% - 自分の考えを学校生活（授業・HR活動・学校行事・部活動など）で生かすことができると答える生徒80%	B	B	- アンケートを見る限り概ね良い数字が出ている。 - 目標値に対して実施は低い。統一基準での評価が必要。 - 生徒が自ら考え、学ぶために様々な工夫をし、指導している様子が伺えた。生徒一人ひとりに親身に向き合ってくれる教員が多いため、生徒も伸び伸びと自分の意見を発し、学びを深めている。 - 教員、生徒、保護者とも温度差がある意見が目立つ。 - ICTを活用した授業の取組はとても素晴らしいと思う。課題としては「プレゼンテーション」かもしれない。実際に授業を拝見したが資料作りは上手だが、話すことに対して少し指導があっても良いかと感じた。 - 様々な情報のもと授業改善を願う。目標が高すぎるのかもしれない。 - 他者と話し合い、自分の意見をしっかり話せることは社会人にとっても重要な事と思う。 - 自分の考えを学校生活（授業・HR活動・学校行事・部活動など）で生かすことができることは素晴らしいと思う。
イ 将来とつながる学び	様々な体験により、生徒が自分自身の特性に気づき、将来への道筋を選択していく学び	- 個々の生徒のキャリアについて考えが深まったか、確認し合う振り返りを常に実施したと答える生徒と教員100% - 自分の得意とすることが、明確になり、将来について考えが進んだ生徒80% - 授業での学びがキャリア選択のために必要であると答える生徒80% - 卒業後の進路について、相談することができる環境が整えられていると答える生徒と教員80% - 読書をする習慣があると答える生徒80%以上	B	B	- 卒業後の進路について相談できると答えていた生徒が多かった。これは日頃からコミュニケーションが取れていることや親身になって相談に乗る教師の皆さんが多い結果。 - 生徒一人ひとりが将来何を学んでいきたいかを考え、自ら選択できるような支援・援助ができており、生徒も自身の将来と向き合い困ったときは相談できている。 - 外部講師などの活用を期待する。多様化する社会に沿った将来像が生徒一人ひとりに伝えられるキャリア教育を望む。先生方も大変かと思うが、これまでの概念が通用しない時代になってきていることを理解して欲しい。 - 生徒と先生で認識？感じ方？が違う理由を明確にしたい。 - 高校生で自分の将来の方向性に考えが進むことは、とても素晴らしい。導く先生方の努力が感じられる。 - 進路相談がしっかりできる環境が整っている。 - 読書習慣は人生を豊かにしてくれる。今後も進めて欲しい。
ウ 系列がつながる学び	各系列の特色をいかし、連携することで、さらなる強みを生み出す学び	- 複数系列が同時に展開できるSDTの授業を構築する - 複数系列がかかわる活動を実践した教員30% - 系列で身に付けた自分の強みを説明できる生徒80% - 他の系列の生徒に、自分の系列の強みを生かした提案ができた生徒60%	B	B	- 総合的学習に関しては授業を行いたい企業は多くある。教師の負担を減らすためにも知識のある企業との連携は今後不可欠だと感じる。 - それぞれの系列がとても良い活動ができている。保護者がその活動内容を知る機会が少ないため、発表会等参加できるような機会があると良い。複数系列が関わる活動は生徒たちにとってとても良い機会になる。今後にも期待。 - 文化祭や学習発表では生徒の視点での取り組みが良かった。次年度に期待。 - 複数系列の連携は、今後の社会生活や企業活動にも大変重要なことだと思う。社会生活は、立場の違う様々な方々の協力・綱引き・ネットワークでできている。引き続き力を入れて欲しい。

エ	地域とつながる学び	・地域で何ができるのか、生徒自身が発見し、他者と協力し、実践し、発信する学び ・地域交流で他者のために力を発揮できた生徒 80% ・他者の気持ちに寄り添った挨拶や行動を常に心がけた生徒 80% ・地域で実践したことを多くの人々に伝えることができた生徒 80% ・場に適したルールについて仲間と考え実践した生徒と教員 80%	B	B	・地域での交流については最初に説明のあったCHIRINでのジェラート販売など、多くの取り組みをしていることがわかった。また新聞記事などからもよく活動していることが見えた。プレスリリースも素晴らしい、さらに発信を進めてもらいたいと思った。 ・地域のために何ができるのかを考え、実践している生徒が多い。地域の人との活動を通して社会やコミュニケーションを学んでいる。コミュニケーションが苦手な生徒にも刺激になるため、外部講師による授業や地域住民との交流を今後も実施して欲しい。 ・富岳館高校の生徒は、他校に比べ、礼儀正しく挨拶も良く出来ている。また、他者の気持ちに寄り添うこと、コミュニケーション能力を高めていくことにも、務めており、評価して良いと思える。これからも、こうした指導をお願いしたい。 ・系列によって差があるように感じた。SNSでの発信も各系列まんべんなく発信できるといいかと思う。 ・地域社会の中で生かされていることを実感し、立場・年齢を超えた交流は、子供を大きく成長させるものと思う。
オ	教育環境の整備と信頼される学校づくり	・学校生活が楽しいと答える生徒 90%以上 ・困ったときに相談できる（信頼できる）先生がいると答える生徒 80%以上 ・教職員が相互理解に努め、望ましい人間関係が醸成されるような職場の雰囲気があると答える教員 80%以上 ・清掃活動をしっかり行っている生徒 100% ・生徒が健康で安全な学校生活を送れるように、健康指導・安全指導が適切に行われていると答える教員 90% ・校内での事故ゼロ ・地域防災訓練に年1回以上参加した生徒 50%以上 ・HPやInstagramを更新した教員 80% ・随時マスコミへの情報提供 ・広報資料の作成	B	B	・インスタグラムやその他学校での出来事等発信することは担当の教諭ではなく「生徒」に任せることも一つの方法かと感じている。例えばリアル動画、ストーリーズなど動画配信など生徒の方が得意だと感じる。また教職員の職場の雰囲気を上げるには「心理的安全性」などを学ぶなどの対策をとることも大切。例えば心理的安全性アワード大賞を受賞している静岡鉄道など見学、もしくは講義を行ってもらうなど方法はある（ご紹介もする） ・自転車に対しての交通ルールが厳格化されることから、事前のレクチャーが必要となってくると感じている。 ・生徒と教職員との信頼関係が構築できている。話しかけにくい教職員が一部いる様子であるが、それ以上に困ったときに相談できる教職員が多い。学校生活に不安がある生徒には他職種や外部と連携し、チームで対応したらどうか。 ・教育環境においては、まずは校内の先生方のとりまとめや温度差を無くしてほしい。アンケート回収率が先生方が低いというのはあまり感心しない。生徒に提出物を促す側なので次回は100%の回収を望む。学校づくりは先生方の意識が大切かと思う。同じ船に乗っている、同じ方向へ舵をきれるようにして欲しい。学校生活面では昨今の社会情勢に合わせた取り組みを高く評価したい。 ・学校生活が楽しい生徒が多い。信頼できる先生がいる。そんな学校ってすごい。 ・特に数値が低いようですが、職場の雰囲気はどうなのでしょう。 ・地域防災訓練に生徒が参加してくれるととても助かる。引き続き地域活動への参加を促して欲しい。 ・HPやInstagramを更新は、昔は無かった業務。大変忙しいと思うが、よろしく願いしたい。
	教職員の働き方改革の推進と多忙化解消	・業務の均衡化 ・定時退庁日や長期休業中の休暇取得 90%以上 ・部活動の在り方について検討する。	B	B	・働き方改革が進む中で有給取得90%以上を達成していることは良い点。部活動は今後任意となるとのご報告を受けた、今後の在り方については様々なアイデアを持ち寄り生徒のためになるような施策を実施していただければと思う。 ・全体的に業務量が多い。金銭の問題もあるが部活動は基本的に外部講師に任せていけたらよいと思う。 ・働き方改革、部活動の在り方への対応も難しいことですがよろしく願いしたい。